広報にいつ

発行所　新潟市役所
発行人　新潟市企画渉外部長
電話代表550番
印刷所　坂爪印刷工業
毎月一回発行

七・一七水害から一年

水害防止に努力

降雨期に備えよう

大きな被害を出した七、一七水害から一年になります。月日の経過とともに災害のおそろしさは忘れられ、そして忘れさられたころ災害はおそいかかってきます。

今年もすでに長期梅雨では集中豪雨が予報されています。市ではあれから一年、災害対策に真剣にとりくんできましたが、とりわけ水害防除には大きな努力が払われました。

降雨期をむかえ、これまでの経過をお知らせして今後よりよい体制を整えてゆきたいと思います。

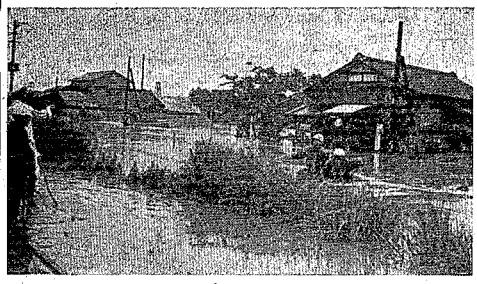
一、昨年の広報十月号（一五三号）に掲載した水に対する対策は、応実施されましたが、まだ局部的には不充分な点も多いものと思われます。

二、しかし、根本問題である能代川の改修、潟水防除計画、下水道計画など実現するには、まだ時間がかかりますが、ようやく降雨の脅威によっては床上、床下の浸水が今年も起きることが心配されます。

三、しかし、現在の市の財政からは、予約なと準備を進めていますが、人手にも限りがあり、予算の関係で市民各位からも積極的な協力をお願いします。

四、市では排水ポンプの増設と整備は予定のとおり終りました。

しかし、今後も降雨の程度によっては浸水被害のおきることも予想されますので、市では市内の排水ポンプを持っている土木業者などに協力を依頼し、緊急の場合には借り上げをして被害の軽減につとめるよう手配を進めています。



濁流の流谷地内で救助活動（7．17水害記録）

ポンプ増設　整備は完了

能代川の排水ポンプの増設と整備は予定のとおり終りました。

能代川改修を急ぐ

国県も危険性再認識

能代川の改修のおくれきくする原因になっています。

昨年の水害以来、市独自として、また、能代川改修促進期成同盟会（流で組織）をあげて改修の促進方について陳情を繰り返してきましたが、県河川課でも、建設省でも大きな問題として取上げられたことは相当多くの人が注目していることと思います。

能代川の改修がおくれていることが、被害を大

陳情の要点は、

一、改修の工事はしなければ被害を防げないことと。

二、現在の川市で集中豪雨などの際、流水することがまぬかれないので川市を拡げる必要があるが、当市の市街地の中で川市を拡げるためには相当多くの人家に立退いて貰わなければならないので、別にもう一本の川をつくること（分水路）を検討して貰いたいこと。

三、予算がいままでのように、今後何年もかかることが予想されるので大作な予算をつけて貰いたいこと。

四、市では排水ポンプの水防除計画、下水道計画など実現するには、まだ時間がかかりますが、人手にも限りがあり、予算の関係で市民各位からも積極的な協力をお願いします。

昨年の水害以来、市独自として、また、能代川改修促進期成同盟会（流で組織）をあげて改修の促進方について陳情を繰り返してきましたが、県河川課でも、建設省でも大きな問題として取上げられたことは相当多くの人が注目していることと思います。

このように能代川の改修は別ものとしても、二、三については明るい見とおしになってきています。

二の分水案については慎重な検討が進められています。

このように能代川の改修は別ものとしても、年や二年で実現できるものでもなく、今後一層陳情を繰り返して要望を続けることにしています。

監査委員に深井氏

固定資産評価委八名を再選

去る五月二日に終った五月定例市議会で、議員から選ばれる監査委員に深井啓吉氏が選任され、また、任期満了に伴う市の固定資産評価審査委員には次のかたがた再選されました。

○新潟市固定資産評価審査委員

（常任委員の任期とした。任期満了に伴う市の固定資産評価審査委員には次のかたが再選されました。

○新潟市固定資産評価審査委員

田中耕治（大蔵）石崎石朔（北七）守田庶雄（軍機）伊藤徳太郎（西島）縄野新吾（川根）磯浦哲吾（小屋場）中沢治（六郷）古田源助（朝日）

◇　◇　◇

なお、最終日の本会議で追加上程された次の議案がそれぞれ原案どおり議決されました。

○昭和四十二年産、生産米価要求に関する決議について

○新潟市議会条例の一部改正

（常任委員の任期とした。任期満了に伴う市の固定資産評価審査委員には次のかたが再選されました。

○新潟市固定資産評価審査委員

田中耕治（大蔵）石崎石朔（北七）守田庶雄（軍機）伊藤徳太郎（西島）縄野新吾（川根）磯浦哲吾（小屋場）中沢治（六郷）古田源助（朝日）

◇　◇　◇

なお、最終日の本会議で追加上程された次の議案がそれぞれ原案どおり議決されました。

○昭和四十二年産、生産米価要求に関する決議について

○新潟市議会条例の一部改正

（常任委員の任期とした。任期満了に伴う市の固定資産評価審査委員には次のかたが再選されました。

○新潟市固定資産評価審査委員

田中耕治（大蔵）石崎石朔（北七）守田庶雄（軍機）伊藤徳太郎（西島）縄野新吾（川根）磯浦哲吾（小屋場）中沢治（六郷）古田源助（朝日）

◇　◇　◇

安全な場所へ避難

土砂くずれなど万一のとき

今年は雨期の前に日照りが続き、降雨のあった梅雨の後、地中に浸透する地下水位が上がるかも知れないというみかたと、表土が固くなり過ぎて浸透がおくれ、出水が早まるかも知れないという、みかたとありますが、市ではむしろ土が乾燥しているためにお盆前に引き続き降雨があった場合